

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日  
そのほか必要があるときには、あらかじめ公告いたします。

単元株式数 100株

公告の方法 電子公告により行います。  
ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載します。  
公告掲載のホームページアドレス  
<http://www.weds.co.jp>

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)  
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

# 44<sup>th</sup>

## 第44期報告書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

# weds

株式会社ウェッズ



# weds

CO.,LTD.

株式会社ウェッズ

〒143-0016

東京都大田区大森北1-6-8 KDX大森ビル6階

TEL 03-5753-8201

URL <http://www.weds.co.jp>



**R100**  
古紙配合率100%再生紙

証券コードNo.7551

ウェッズの永遠のテーマ、  
それはCHALLENGEです。  
私達は人と車の未来に向けて、  
常に新しく価値ある商品を創造し社会に貢献します。



## CONTENTS

株主の皆様へ	
（第44期の営業概況について）.....	2
連結財務諸表 .....	3
決算ハイライト（連結）.....	5
セグメント別の概況.....	6
第45期連結業績見通しと	
会社の対処すべき課題.....	7
TOPICS .....	8
NEW PRODUCTS.....	9
会社の概要・株式情報.....	10

## ●株主の皆様へ（第44期の営業概況について）



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は当社の事業運営に格別のご支援・ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて第44期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の当社グループの業績につきまして、その概要をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、サブプライムローンに端を発した米国経済の減速やリーマンブラザーズの破綻など世界同時金融不安に伴う世界的な為替・株価の変動により、企業業績と個人消費の落ち込みが急激に懸念される状況となりました。とりわけ、春から夏にかけてのガソリン価格の高騰、10月以降の企業業績の悪化、雇用調整報道等により消費者心理の悪化と車離れを加速させており、当社の業績にも影響を与えた状況となりました。

当社グループと密接な関係にある自動車業界では、国内新車販売台数が前年比約12%減少し470万台にまで落ち込み、アフターマーケットにおける自動車用品の需要も低調に推移しました。

このような環境において、当社グループは積極的な営業活動と利益体質強化に努めた結果、当連結会計年度は、売上高は21,447百万円（前期比8.6%減）、営業利益は278百万円（前期比41.5%減）、経常利益は305百万円（前期比42.1%減）、当期純利益は自動車関連小売事業で約44百万円の減損処理を実施したため111百万円（前期比62.9%減）となり減収減益となりました。

当期の配当につきましては安定的な配当を基本方針としておりますので、前期同様に1株当たり15円（うち中間配当7.5円）とさせていただきますこととなりました。

株主の皆様には、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年 6月

代表取締役社長 川口 修

連結貸借対照表 (単位：百万円)

科目	当期	前期
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>6,649</b>	<b>7,236</b>
現金及び預金	646	489
受取手形及び売掛金	2,942	3,729
たな卸資産	2,587	2,637
繰延税金資産	48	132
その他	426	255
貸倒引当金	△2	△8
<b>固定資産</b>	<b>4,899</b>	<b>5,026</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>3,358</b>	<b>3,340</b>
建物及び構築物	1,621	1,747
土地	1,431	1,431
建設仮勘定	141	—
その他	164	162
<b>無形固定資産</b>	<b>350</b>	<b>372</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,190</b>	<b>1,313</b>
投資有価証券	589	726
繰延税金資産	32	29
その他	606	596
貸倒引当金	△38	△39
<b>繰延資産</b>	<b>—</b>	<b>2</b>
<b>資産合計</b>	<b>11,548</b>	<b>12,265</b>

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

科目	当期	前期
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>3,339</b>	<b>3,184</b>
買掛金	907	1,247
短期借入金	1,739	1,129
未払法人税等	137	194
携帯電話短期解約返戻引当金	0	1
賞与引当金	156	137
役員賞与引当金	28	31
その他	369	441
<b>固定負債</b>	<b>1,620</b>	<b>2,571</b>
社債	—	700
長期借入金	1,217	1,447
繰延税金負債	59	95
退職給付引当金	42	47
役員退職慰労引当金	148	131
その他	152	149
<b>負債合計</b>	<b>4,959</b>	<b>5,755</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>6,482</b>	<b>6,456</b>
資本金	852	852
資本剰余金	802	802
利益剰余金	4,840	4,802
自己株式	△12	△0
<b>評価・換算差額等</b>	<b>106</b>	<b>53</b>
その他有価証券評価差額金	0	56
繰延ヘッジ損益	106	△3
為替換算調整勘定	△0	—
<b>純資産合計</b>	<b>6,589</b>	<b>6,510</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>11,548</b>	<b>12,265</b>

連結損益計算書 (単位：百万円)

科目	当期	前期
売上高	21,447	23,457
売上原価	17,016	18,691
<b>売上総利益</b>	<b>4,431</b>	<b>4,765</b>
販売費及び一般管理費	4,153	4,289
<b>営業利益</b>	<b>278</b>	<b>475</b>
営業外収益	99	182
営業外費用	73	131
<b>経常利益</b>	<b>305</b>	<b>526</b>
特別利益	25	—
特別損失	70	—
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>260</b>	<b>526</b>
法人税、住民税及び事業税	141	226
法人税等調整額	7	0
<b>当期純利益</b>	<b>111</b>	<b>300</b>

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 (単位：百万円)

当連結会計年度

	株主資本					評価・換算差額等				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
前期末 残高	852	802	4,802	△0	6,456	56	△3	—	53	6,510
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△73		△73					△73
当期純利益			111		111					111
自己株式の取得				△12	△12					△12
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△56	110	△0	53	53
連結会計年度中の変動額合計			38	△12	25	△56	110	△0	53	79
当期末 残高	852	802	4,840	△12	6,482	0	106	△0	106	6,589

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

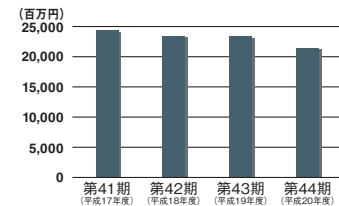
科目	当期	前期
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>827</b>	<b>1,186</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△252</b>	<b>△726</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△417</b>	<b>△717</b>
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△0</b>	<b>—</b>
<b>V 現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>156</b>	<b>△257</b>
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>489</b>	<b>747</b>
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>646</b>	<b>489</b>

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

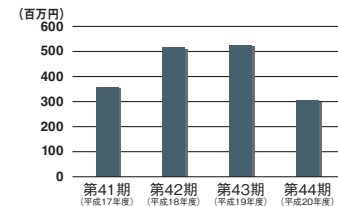
## ●決算ハイライト（連結）

## ●セグメント別の概況

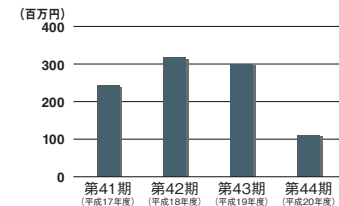
### 売上高



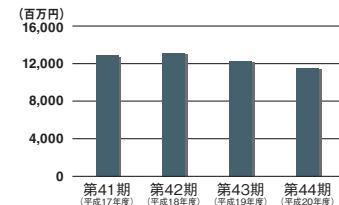
### 経常利益



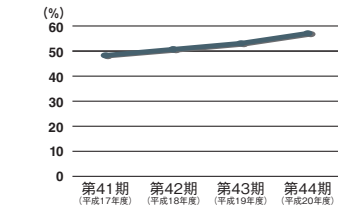
### 当期純利益



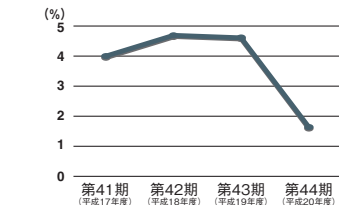
### 総資産



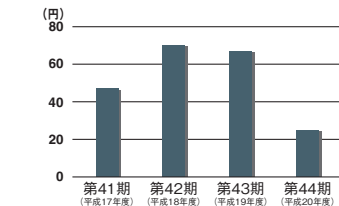
### 自己資本比率



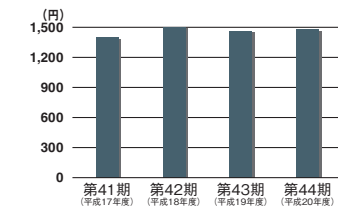
### 自己資本当期純利益率



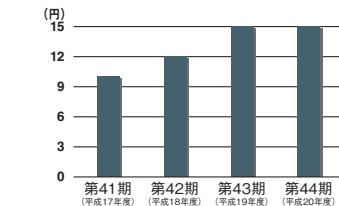
### 1株当たり当期純利益



### 1株当たり純資産



### 1株当たり配当



項目	第41期 (平成17年度)	第42期 (平成18年度)	第43期 (平成19年度)	第44期 (平成20年度)
売上高 (百万円)	24,398	23,476	23,457	21,447
営業利益 (百万円)	358	474	475	278
経常利益 (百万円)	358	515	526	305
当期純利益 (百万円)	243	312	300	111
総資産 (百万円)	12,874	13,123	12,265	11,548
純資産 (百万円)	6,212	6,655	6,510	6,589
自己資本比率 (%)	48.3	50.7	53.1	57.1
自己資本当期純利益率 (%)	4.0	4.7	4.6	1.7
1株当たり当期純利益 (円)	47	70	67	25
1株当たり純資産 (円)	1,390	1,497	1,464	1,493
1株当たり配当 (円)	10	12	15	15
配当性向 (連結) (%)	20.9	17.1	22.2	59.8

(注) 第43期の1株当たり配当15円には、株式公開10年目の記念配当3円を含んでいます。

## 当連結会計年度の事業セグメント別業績

### ●自動車関連卸売事業

自動車関連卸売事業の売上高は17,546百万円となり前期比915百万円(5.0%)減少しました。これは高級ホイールと廉価ホイールの売上高減少によるものです。営業利益は238百万円となり前期比では91百万円(27.9%)減少しました。営業利益は第3四半期以降、特に第4四半期の売上高が減少したことによるものです。

### ●自動車関連小売事業

自動車関連小売事業の売上高は1,628百万円となり前期比143百万円(8.1%)減少しました。これは個人消費の低迷が年間を通し続いたことによるものです。営業損失は25百万円となり前期比では13百万円の改善となりました。これは販売管理費の削減等と仕入コストの削減等によるものです。

### ●開発事業

開発事業の売上高は1,204百万円となり前期比915百万円(43.2%)減少しました。営業損失は7百万円となり前期比126百万円減少しました。これらは10月以降の急激な自動車関連需要の低下により大口納入先である中央精機株向け機械の納入が減少したためです。

### ●福祉事業

福祉事業の売上高は484百万円となり前期比30百万円(6.7%)増加しました。営業利益は55百万円となり前期比1百万円(3.1%)増加しました。これらはグレイシャスピラ安城が営業4年目に入って事業が軌道に乗り施設入居率も概ね満床になったためです。2010年1月の竣工予定の増床も順調に進んでおり、今後は増床分80床を加え約150床の事業体制となります。

### ●その他

携帯電話代理店事業の売上高は727百万円となり前期比113百万円(13.5%)減少しました。営業利益は14百万円となり前期比4百万円(47.0%)増加しました。売上高は、山形市のソフトバンク既存3店舗が前年売上を確保したもののauショップ三河安城店の閉鎖(2008年6月)により減少しました。営業利益はauショップ三河安城店の閉鎖に伴う経費削減効果等により5百万円増加しました。

## セグメント別売上高・営業利益

		自動車関連卸売	自動車関連小売	開発	福祉	その他	消去	計
売上高	当期	17,546	1,628	1,204	484	727	△144	21,447
	前期	18,462	1,771	2,120	454	841	△192	23,457
営業利益	当期	238	△25	△7	55	14	2	278
	前期	329	△38	119	54	9	0	475

(百万円)

第45期の連結業績見通し

次期連結会計年度のわが国経済は、米国景気の低迷や世界規模の景気不安定要因により企業業績や消費への影響が懸念されております。このため経営環境は更に厳しくなると見込んでおりますが、当社グループは自動車関連卸売事業における高中級商品の販売強化と冬用商品依存度の引下げ、自動車関連小売事業の収益改善、福祉事業の拡大等を推進して環境変化に対応して参ります。通期の連結業績見通しは以下の通りです。

売上高	21,500百万円 (前期比 0.2%増)
営業利益	450百万円 (前期比61.7%増)
経常利益	450百万円 (前期比47.5%増)
当期純利益	210百万円 (前期比88.6%増)

\*上記の業績見通しは現時点で入手可能な情報に基づいて当社経営者が判断したものであります。実際の業績は様々な要因の変化により上記と大きく異なる結果になり得ることをご承知おき下さい。

会社の対処すべき課題

当社グループは、自動車用品アフターマーケットの成熟化や競争激化等に対応すべく体制強化に取り組んでおりますが、当社及び連結子会社が対処すべき課題は次の通りです。

1. 自動車関連卸売事業における高中級アルミホイール商品開発力の強化
2. 自動車関連卸売事業における営業力強化及びシステム構築
3. 自動車関連卸売事業における商品管理の強化
4. 自動車関連卸売事業における高級品3ピース製造販売の拡充
5. 自動車関連小売事業の収益性改善と規模拡大
6. 福祉事業の拡充
7. 輸出売上高の確保

“WedsSport IS350GT” 第1戦の岡山では早くもクラス優勝！！

今年も日本のモータースポーツのトップカテゴリーであるSUPER GT選手権に参戦決定！

初戦の岡山国際サーキットから今年のレースを占うがごとく、いきなりの優勝を果たし、幸先良いすべり出しとなりました。

ファーストドライバーは昨年に引き続き織戸学選手、セカンドドライバーは昨年までGT500クラスで大活躍していた片岡龍也選手を起用して、磐石のチーム体制で今年こそはシリーズチャンピオンを目指します。皆様のご声援宜しくお願いします。

尚、レース結果はWEDSオフィシャルホームページで随時掲載中です。ご期待ください。



今年のウェッズイメージガールは「大島麻衣」さんに決定！

本年2009年度のウェッズイメージガールとして、テレビにCMに大活躍のAKB48でおなじみの「大島麻衣」さんを採用することに決定しました。ウェッズグランドカタログへの掲載や店頭の等身大パネルなど多くの店頭POPに登場し、注目を集めています。



熱き創造性、強いこだわり。  
それは如何なる環境下をも勝ち抜く当社の揺ぎない姿勢。



当社のフラッグシップブランドとして、また市場においては確固たる地位を築く「クレンツェ」。今年も渾身のニューモデル「クリシュナ」を発表しました。躍動的な立体的なスポークデザインに、類稀な五角形のセンターキャップをアクセントとしたモデル。技術の先端を象徴するSBCポリッシュカラーを始め、大人の雰囲気が漂うマットブラックポリッシュ、煌びやかな輝きを放つクロームの3種類をカラーバリエーションとし、ハイエンドユーザーの幅広い嗜好に対応します。

昨今のアフターマーケットは流行の移り変わりが速く、益々多様化するニーズを迅速に察知しなければなりません。そんな中で人気ブランドの地位を走り続けるそれがクレンツェです。

2008年秋、満を持して放たれた新ブランド「マーベリック」。当社の高級品群に新しく加わった期待のブランドは、攻撃的なデザイン・洗練された質感を纏い華々しくデビューしました。発表時2つのフェイスでスタートするも年明けと共に、新たに2フェイスを追加！新たな歴史を作るべく、舞台は幕を開けました。

2009年、当社は「クレンツェ」、「マーベリック」を主力としたラインアップで、如何なる環境・時代もチャレンジという志の元で前進して行きます。

また同時に、多くの新商品を発表しました。「ヴィレンズ」や「ZEA」、「レオニス」、「WedsSport」をはじめ、魅力的な商品のラインアップをWeb上で掲載しておりますのでどうぞご覧下さい。

当社ホームページURL : <http://www.weds.co.jp/>

●会社の概要・株式情報 (平成21年3月31日現在)

会社概要

商号 株式会社ウェッズ  
WEDS CO.,LTD.  
本社 東京都大田区大森北1-6-8  
KDX大森ビル6階  
設立 昭和40年10月12日  
資本金 8億5,275万円  
従業員数 135名  
業務内容 自動車用アルミホイール・スチール  
ホイールを中心とした自動車部品・  
用品の販売

役員 (平成21年6月24日総会後新役員)

取締役社長 (代表取締役) 川口 修  
専務取締役 谷越 時義  
取締役 東 幸雄  
取締役 山口 義弘  
取締役 伊澤 秀  
常勤監査役 川崎 史博  
監査役 加藤 武司  
監査役 小林 和夫

※取締役東幸雄氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
※監査役加藤武司氏及び小林和夫氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式情報

■発行可能株式総数 ..... 17,780,000株  
■発行済株式の総数 ..... 4,445,000株  
■単元株式数 ..... 100株  
■株主数 ..... 601名  
■大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
中央精機株式会社	1,621,800	36.49
ソシエテ ジェネラル エヌアルエイ エヌオー デイ テイ テイ	386,000	8.68
石原 勝 成	242,759	5.46
株式会社三菱東京UFJ銀行	222,000	4.99
碧海信用金庫	130,000	2.92
ウェッズ従業員持株会	114,010	2.56
民享工業股份有限公司	109,700	2.47
株式会社三井住友銀行	91,000	2.05
六和機械股份有限公司	64,000	1.44
星野 肇	59,100	1.33

■株価推移

